


正大 9年 / 月 24日
 正大 9年 / 月 30日
 正大 9年 2月 3日
 正大 9年 1月 7日
 正大 9年 / 月 30日

「いよほど」
 口ま潮れり
 下直
 心切かに面白がる


し製鐵所時間短縮嘆願に就て請
 論沸騰し其従業時間は八時間
 十時間制の二派に別れ其他同所
 職工にして官舎を給せられざる
 もには
▲舎宅料の要求
 なし舎宅料は安川式に則り月五
 圓三圓一圓五十錢位の等級を別
 つ事を希望し右等職種に舎宅
 料給與の要求を爲し又一製鐵所
 に於て之を絶對容れられざる時
 は同所會員約六千名一齊に即時
 ストライキを企てん時を決議せ
 しに淺原會長は當日會員に對
 し其の

し製鐵所時間短縮嘆願に就て請
 論沸騰し其従業時間は八時間
 十時間制の二派に別れ其他同所
 職工にして官舎を給せられざる
 もには
▲六千名の會員
 對し一齊に激を飛ばし當日同
 會員にして最も勢力を有し急進
 派と目せらる製鐵所中央機
 二小形工場大形工場製鐵所外
 輸工場運輸課煉鋼原料工場掘付
 工場鑄物工場及ロール工場約
 二千名の同會員中に
▲一馮千里に加入
 の連判状を取りたるがこれが爲
 め淺原會長は豫定の東京を中止
 し目下之が前後策を構し製鐵所
 職工の氣勢依然再興し目下の動
 搖正に山雨瀟らんとして風裡に
 滿つるの概あり人心驚くたるも
 のあり

No.	名紙 (橋)	名紙 (橋)	名紙 (橋)	名紙 (橋)	名紙 (橋)
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

▲うわさは事實
労働友會の
 八幡製鐵所職工を以て組織せ
 労働友會の幹部某が最近嫌んに八
 幡市海岸通の某料理屋に出遣り
 酒色に耽溺し居る噂既報したる
 が聞く所に依れば會長淺原某は
 二十一日突如八幡若に召喚され
 何事が注意を受け厳しき説教を

主義の使ひ分け
八幡労働組
合の奇現象
 友愛八幡支部と昨年新に生れた
 日本労働友會とが近時接近しつ
 あるは繼り可からざる事實にして
 會員中殊に幹部の一部には友愛會
 にして適當なる支部長を仲は労働
 會しては大に権威を示して同會に
 殊に意義ある労働組合と爲さん
 と奮闘せられつありと云ふ而
 して同會とは親善に相答れず今

並首選要
其節の四
自ら陣頭に立つ
 北九州における選挙要選
 火は二十日午前九時三萬の勞
 働する製鐵所所在地たる八
 幡に於て起られたり主權者日
 本は午前九時労働友會と夫
 大庭を擁立てたる自動陣頭を飛

蒲園から
 突出した
黒い手
 全身眞黒々
 一昨日二十日午後三時頃下關市用
 戸柳の巡查番所に遣入り込み
 柳より蒲園を引摺出し高船を
 艇て居る一名の怪しい男あるを
 捕らへて蒲園をなせる中會員及市民追